

(様式1)

令和元年7月11日

広島市教育長様
(学校教育部指導第二課)

学校名 広島工業高等学校(定時制)

教頭名 堂 鼻 康 晴

令和2年度使用高等学校・中等教育学校(後期課程)用教科用図書選定手順(報告)

月日(曜日)	選定手順の内容
6月4日(火)	・ 令和2年度使用高等学校・中等教育学校(後期課程)用教科用図書採択事務説明会に出席する。
6月13日(木)	・ 教頭は、校内における令和2年度使用教科用図書選定に係る事務の推進を行うため「令和2年度使用教科用図書選定委員会」を組織する。 ・ 選定委員会において、教科用図書選定が適正かつ公正に行われるよう協議し、調査の観点及び視点を決定する。 ・ 教頭は、調査員を任命する。 ・ 選定委員会は、調査員に教科用図書を調査する観点及び視点を示す。
6月14日(金)～	・ 調査員は、選定委員会の依頼に基づき、教科書目録に記載されている教科用図書について、調査研究を行う。
7月8日(月)	・ 調査員は、調査結果を選定委員に報告する。
7月9日(火)	・ 選定委員会を開催し、令和2年度使用教科用図書について審議し、その結果を教頭に答申する。
7月10日(水)	・ 教頭は、選定委員会からの答申に基づき、令和2年度使用教科用図書申請書を作成する。
7月11日(木)	・ 教頭は、広島市教育委員会へ、令和2年度使用教科用図書申請書を提出する。

令和元年7月11日

広島市教育長様
(学校教育部指導第二課)

学校名 広島工業高等学校(定時制)

教頭名 堂鼻 康晴

令和2年度使用高等学校・中等教育学校(後期課程)用教科用図書選定資料(報告)

<p>1 学校の特色</p> <p>本校は、平成25年度に生産技術科・建設技術科を工業技術科に学科改編し、平成28年度に完成年度を迎えた単位制高校である。2年次からは、機械・電気・建設の3つのコースに分かれ、生徒の興味・関心や進路に合わせた学習を行っている。</p> <p>また、1日の授業時間を増やし、卒業に必要な単位を修得すれば三年間で卒業することも可能としている。二学期制を導入し、学期ごとに単位認定を行うため、前期卒業も可能である。</p>																				
<p>2 生徒の実態</p> <p>本校には、勤労青少年や高等学校を退学して再び入学する生徒、中学校時代に不登校傾向のあった生徒など、様々な事情や背景を持った生徒が在籍している。そのため、基礎的・基本的な学力の定着が不十分な生徒や、他者とのコミュニケーションが難しい生徒など、様々な課題を持つ生徒がおり、個に応じた支援が必要な生徒も少なくない。</p> <p>多くの生徒は、工業教育に興味を持ち、工業教科について意欲的に取り組んでいる。しかし、その一方で、工業にあまり興味を持たずに入学する生徒もいる。</p>																				
<p>3 調査の観点及び視点</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>観点</th> <th>視点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>基礎・基本の定着</td> <td>○単元の目標及びまとめの示し方 ○言葉の特徴やきまりに関する事項の扱い方 ○伝統と文化に関する内容の記述</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>主体的に学習に取り組む工夫</td> <td>○問題解決的な学習を実施するための工夫 ○興味・関心を高めるための工夫</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>内容の構成・配列・分量</td> <td>○年間の学習内容の見通しのもとせ方 ○単元や資料等の配列 ○系統性と反復性の工夫</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>内容の表現・表記</td> <td>○挿絵・写真等の活用 ○巻末資料の示し方 ○配色や文字の大きさ等の工夫</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>言語活動の充実</td> <td>○学校図書館機能の活用 ○ねらいに応じた言語活動の設定及びその工夫</td> </tr> </tbody> </table>				観点	視点	①	基礎・基本の定着	○単元の目標及びまとめの示し方 ○言葉の特徴やきまりに関する事項の扱い方 ○伝統と文化に関する内容の記述	②	主体的に学習に取り組む工夫	○問題解決的な学習を実施するための工夫 ○興味・関心を高めるための工夫	③	内容の構成・配列・分量	○年間の学習内容の見通しのもとせ方 ○単元や資料等の配列 ○系統性と反復性の工夫	④	内容の表現・表記	○挿絵・写真等の活用 ○巻末資料の示し方 ○配色や文字の大きさ等の工夫	⑤	言語活動の充実	○学校図書館機能の活用 ○ねらいに応じた言語活動の設定及びその工夫
	観点	視点																		
①	基礎・基本の定着	○単元の目標及びまとめの示し方 ○言葉の特徴やきまりに関する事項の扱い方 ○伝統と文化に関する内容の記述																		
②	主体的に学習に取り組む工夫	○問題解決的な学習を実施するための工夫 ○興味・関心を高めるための工夫																		
③	内容の構成・配列・分量	○年間の学習内容の見通しのもとせ方 ○単元や資料等の配列 ○系統性と反復性の工夫																		
④	内容の表現・表記	○挿絵・写真等の活用 ○巻末資料の示し方 ○配色や文字の大きさ等の工夫																		
⑤	言語活動の充実	○学校図書館機能の活用 ○ねらいに応じた言語活動の設定及びその工夫																		

令和2年度使用

高等学校・中等教育学校（後期課程）用 教科用図書選定一覧

- ・ 学年欄の数字を○で囲んで示しているものは、すでに使用していて次年度も引き続き使用する教科用図書(生徒が購入しないもの)である。

- ・ 新規の選定欄に「新規」と記載しているものは、平成31年度使用教科用図書と異なる教科用図書を申請したものであり、そのうち必修科目は文字を○で囲んで示している。

また、「改訂」と記載しているものは、平成31年度使用教科用図書の改訂版を申請したものである。

なお、新規の選定欄に記載がないものは、平成31年度使用教科用図書と同一の教科用図書を申請したものである。

令和2年度使用高等学校・中等教育学校（後期課程）用教科用図書選定一覧

【広島工業高等学校（定時制）】

学年	教科名	科目名	新規の選定	発行者	書名	選定の理由
④	国語	国語総合		第一学習社	高等学校改訂版新編国語総合	生徒の興味・関心を高めることができるよう、表紙見返しの口絵に「読書のしるべ」を掲載している。また、大型判で活字が読みやすく、使いやすい作りとなっている。
4	国語	国語表現		大修館	国語表現改訂版	生徒の基礎・基本の定着を図ることができるよう、巻頭資料として表現を豊かにすることを目的とした索引「教科書を活用しよう」を設けている。
4	国語	現代文A		第一学習社	高等学校改訂版新編現代文A	生徒の興味・関心を高めることができるよう、巻頭に「読書のしるべ」を掲載し、読み比べの言語活動を設定している。
④	地理歴史	世界史A		山川出版	現代の世界史改訂版	学習の見通しを持たせることができるよう、各章の始めにその章で学習する内容をポイントを絞ったわかりやすい文章で示している。
④	地理歴史	世界史A		帝国書院	地歴高等地図—現代世界とその歴史的背景—	生徒の興味・関心を高めることができるよう、歴史的事象等を現代世界と重ね合わせて示している。
4	地理歴史	地理A		帝国書院	高等学校新地理A	生徒の地理的スキルを高めることができるよう、雨温図の見方や写真の読み取り方等を示す「技能をみがく」を適宜設けている。
4	公民	政治・経済		東京書籍	政治・経済	基礎・基本の定着を図ることができるよう、各節で学習したことをまとめるための課題「節のまとめ」を設けている。
④	数学	数学I		東京書籍	改訂 新数学I	学習内容の定着を確認しながら見通しを持って学習に取り組むことができるよう、「章のまとめ」を掲載している。
4	数学	数学A		東京書籍	改訂 新数学A	基礎・基本の定着を図ることができるよう、章末に復習問題に加えて「章のまとめ」を記載している。
4	数学	数学B	改訂	数研出版	改訂版 新高校の数学B	目標を明確にし、見通しをもって学習に取り組むことができるよう、各項目のはじめに学習する内容を示している。
4	数学	数学活用		実教出版	数学活用	生徒の興味・関心を高めることができるよう、身近な事例を多く扱っている。また、学習内容を活用し深く理解することができるよう、「課題」を設けている。
④	理科	物理基礎		東京書籍	改訂 新編物理基礎	基礎・基本の定着を図ることができるよう、学習する内容について章の冒頭に、メモ欄「学習前」「学習後」を設け、小單元ごとに例題や問による問題演習を設定している。

令和2年度使用高等学校・中等教育学校（後期課程）用教科用図書選定一覧

【広島工業高等学校（定時制）】

学年	教科名	科目名	新規の選定	発行者	書名	選定の理由
4	理科	化学基礎		東京書籍	改訂 新編化学基礎	基礎・基本の定着を図ることができるよう、章ごとに「まとめ」と章末確認テストを掲載している。
④	保健体育	保健		第一学習社	高等学校 改訂版 保健体育	生徒の興味・関心を高めることができるよう、各所に「コラム」（「保健編は生活最前線」、「体育編はスポーツ最前線」）を設け、実生活との関連をもたせる工夫がされている。
④	芸術	書道 I		教育出版	新編 書道 I	学習活動や学習過程について見通しをもつことができるよう、作品の制作過程を示す写真を多用している。
4	外国語	英語表現 I		三省堂	SELECT English Expression I New Edition	基礎・基本を定着させ、英語での表現力を育成することができるよう、各レッスンに場面でGo!を設定し、言語活動を充実させている。
4	外国語	英語会話		三省堂	SELECT English Conversation	言語活動を通して英語での表現力を高めることができるよう、具体的な場面を設定したINTERVIEWやPAIR WORKを設けている。
④	家庭	家庭基礎		東京書籍	家庭基礎 自立・共生・創造	基礎・基本の確実な定着を図ることができるよう、小・中学校で学習した内容と高等学校で学習する内容の関連を示した「小学校、中学校の学習とのつながり」のページを設けている。
4	家庭	フードデザイン		教育図書	フードデザイン cooking&arrangement	生徒が興味・関心を持って学習に取り組むことができるよう、実習のカラー写真、イラストなどを多数掲載している。
4	家庭	調理		教育図書	フードデザイン cooking&arrangement	生徒が興味・関心を持って学習に取り組むことができるよう、実習のカラー写真、イラストなどを多数掲載している。
④	工業（共通）	工業技術基礎		実教出版	工業技術基礎	生徒の興味・関心を高めるとともに、学習内容の定着を図ることができるよう、事例を記載している。また、イラストなどの資料を多く掲載している。
4	工業（共通）	製図		実教出版	製図	基礎・基本の定着を図ることができるよう、製図の基礎や機械、電気、建築に関する内容を記載している。
4	工業（共通）	工業数理基礎		実教出版	工業数理基礎	基礎・基本の定着を図ることができるよう、SI単位系を掲載している。また、生徒の興味・関心を高めることができるよう、例題とともに平易な練習問題を多く取り入れている。
④	工業（共通）	情報技術基礎		実教出版	情報技術基礎 新訂版	プログラム言語の基礎・基本を確実に習得できるよう、工業科で扱うBASICとC言語を章立てして掲載している。

令和2年度使用高等学校・中等教育学校（後期課程）用教科用図書選定一覧

【広島工業高等学校（定時制）】

学年	教科名	科目名	新規の選定	発行者	書名	選定の理由
4	工業（共通）	デザイン技術		海文堂	デザイン技術	生徒の興味・関心を高めることができるよう、巻頭に写真や絵を設けている。
④	工業（機械）	実習		実教出版	工業技術基礎	生徒の興味・関心を高めるとともに、学習内容の定着を図ることができるよう、事例を記載している。また、イラストなどの資料を多く掲載している。
④	工業（機械）	製図		実教出版	製図	生徒が主体的に学習することができるよう、製図の基礎や機械、電気、建築に関する内容を記載している。
④	工業（機械）	情報技術基礎		実教出版	情報技術基礎新訂版	プログラム言語の基礎・基本の定着を図ることができるよう、工業科で扱うBASICとC言語を章立てして掲載している。
4	工業（機械）	材料技術基礎		実教出版	工業材料	生徒が主体的に学習することができるよう、環境問題に関する内容と、身近な材料と関係させて学習を行うことができる工夫をしている。
4	工業（機械）	生産システム技術		実教出版	生産システム技術	基礎・基本の定着を図ることができるよう、公式を適切に表記している。また、興味・関心を高めることができるよう、コラムや単位の由来の説明を掲載している。
④	工業（機械）	機械工作		実教出版	機械工作1	生徒が興味・関心を高め、主体的に学習することができるよう、各章の節を多く設け、学習内容を詳しく解説している。
4	工業（機械）	機械設計		実教出版	機械設計1	学習内容の定着を図ることができるよう、章ごとに練習問題を多く設けている。また、単位や量記号を分かりやすく表記している。
4	工業（機械）	原動機		実教出版	原動機	専門的な学習内容について、理解を深めることができるよう、内燃機関と流体機械について詳しく解説するなどの構成になっている。
④	工業（電気）	実習		実教出版	工業技術基礎	生徒の興味・関心を高めるとともに理解の定着を図ることができるよう、事例や記述がなされ、イラストなどの資料を多く掲載している。
④	工業（電気）	製図		実教出版	電気製図	基礎・基本の定着を図ることができるよう、各単元のねらい等を示している。また、電気・電子に関係する図記号を詳しく表記している。
④	工業（電気）	電気基礎		実教出版	電気基礎1新訂版	専門的な内容を主体的に学習することができるよう、見返しに単位・図記号を掲載している。また、例題や問題を適宜設けている。


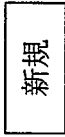
令和2年度使用高等学校・中等教育学校（後期課程）用教科用図書選定一覧

【広島工業高等学校（定時制）】

学年	教科名	科目名	新規の選定	発行者	書名	選定の理由
④	工業（電気）	電気基礎		実教出版	電気基礎2 新訂版	専門的な内容を主体的に学習することができるよう、見返しに単位・図記号を掲載している。また、例題や問題を適宜設けている。
④	工業（電気）	電気機器		オーム社	電気機器	生徒が主体的に学習することができるよう、節の始めに学習のポイントを示している。また、電気機器で学ぶ重要な公式を掲載している。
4	工業（電気）	電力技術		実教出版	電力技術1 新訂版	基礎・基本の定着を図ることができるよう、「節末問題」を掲載している。また、課題解決的な学習ができるよう、各章末に「まとめ」と「章末問題」を掲載している。
4	工業（電気）	電力技術		実教出版	電力技術2 新訂版	基礎・基本の定着を図ることができるよう、適宜問と例題を掲載している。また、課題解決的な学習ができるよう、各章末に「まとめ」と「章末問題」を掲載している。
4	工業（電気）	電子回路		実教出版	電子回路 新訂版	見通しを持って学習することができるよう、「この章で学ぶこと」を設けている。また、基礎・基本の定着を図ることができるよう、まとめと章末問題を掲載している。
4	工業（電気）	電子計測制御		実教出版	電子計測制御	見通しを持って学習することができるよう、各章ごとに学ぶ内容を明確に示し、まとめを掲載している。
4	工業（電気）	ソフトウェア技術		実教出版	ソフトウェア技術	見通しを持って学習することができるよう、学習する内容を記載しており、ソフトウェアの機能と操作に関する学習を深めることができるよう工夫されている。
④	工業（建設）	実習		実教出版	工業技術基礎	生徒の興味・関心を高めるとともに、学習内容の定着を図ることができるよう、事例を記載している。また、イラストなどの資料を多く掲載している。
④	工業（建設）	製図		実教出版	建築設計製図	生徒の興味・関心を高めることができるよう、巻頭にカラーの挿絵を掲載し、本文に製図例を大きく示している。
4	工業（建設）	製図		実教出版	土木製図	土木構造物について、主体的に学習することができるよう、製図方法や例題を多く掲載している。
4	工業（建設）	建築計画		実教出版	建築計画	生徒の興味・関心を高めることができるよう、コラムやカラー写真を多く掲載している。
4	工業（建設）	建築施工		実教出版	建築施工	生徒が主体的に学習に取り組むことができるよう、施工に携わる人々の仕事と工事の流れを示した写真が掲載されている。また、工事で使用する建設機械を掲載している。

令和2年度使用高等学校・中等教育学校（後期課程）用教科用図書申請書

記入上の注意

- 1 教科・科目順とすること。
- 2 新規で選定した教科書は「新規の選定」欄に「新規」と記載すること。
* 「新規」と記載するものうち、 は新規の申請、 は改訂版とする。
- 3 発行の番号・略称、教科書の記号・番号は教科書目録によること。
- 4 すでに使用していて次年度も引き続き使用する教科書（生徒が購入しないもの）は学年欄の数字を○で囲んで示すこと。
- 5 教科書の調査の観点に従って評価し、選定した教科書について理由を記述すること。

学校名 広島工業高等学校 (定時制)

教頭名 堂鼻康晴

令和2年度使用高等学校・中等教育学校(後期課程)用教科用図書申請書(その1)

学年	教科名	科目名	新規の選定	発行者の番号、略称	教科書の記号、番号	書名	観点の評価					選定	選定の理由	
							基礎基本	学習方法	構成等	整理整記	言語活動			
④	国語	国語総合		183 第一	国総 362	高等学校 新編国語総合 改訂版	◎	◎	○	◎	◎	◎	選定	生徒の興味・関心を高めることができよう、表紙見返しの口絵に「読書のしるべ」を掲載している。また、大型判で活字が読みやすく、使いやすい作りとなっている。
4	国語	国語表現		50 大修館	国表 307	国語表現 改訂版	◎	○	◎	◎	◎	◎	選定	生徒の基礎・基本の定着を図ることができよう、巻頭資料とした索引を豊かにすることを目的に「教科書を活用しよう」を設けている。
4	国語	現代文A		183 第一	現A 307	高等学校 新編現代文A 改訂版	◎	◎	◎	◎	◎	◎	選定	生徒の興味・関心を高めることができよう、巻頭に「読書のしるべ」を掲載し、読み比べの言語活動を設定している。
④	地理歴史	世界史A		81 山川	世A 315	現代の世界史 改訂版	◎	◎	◎	◎	◎	◎	選定	学習の見通しを持たせることができよう、各章の始めにその章で学習する内容をポイントを絞ったわかりやすい文章で示している。
④	地理歴史	世界史A		46 帝国	地図 307	地歴高等地図 一 現代世界とその歴史的背景一 改訂版	◎	◎	◎	◎	◎	◎	選定	生徒の興味・関心を高めることができよう、歴史的現象等を現代世界と重ね合わせて示している。
4	地理歴史	地理A		46 帝国	地A 308	高等学校 新地理A 改訂版	◎	◎	◎	◎	◎	◎	選定	生徒の地理的技術を高めることができよう、雨温図の見方や写真の読み取り方等を示す「技能をみがく」を適宜設けている。
4	地理歴史	地理A		35 清水	地A 311	高等学校 現代地理A 新訂版	◎	◎	◎	◎	◎	◎	選定	

(様式3)

広島市教育長様
(学校教育指導第二課)

令和元年7月11日

学校名 広島工業高等学校 (定時制)

教頭名 堂 鼻 康 晴

令和2年度使用高等学校・中等教育学校 (後期課程) 用教科用図書申請書 (その2)

学年	教科名	科目名	新規の 選定	発行者の 番号、略称	教科書の 記号、番号	書名	観点の評価				選定	選定の理由	
							基礎基本	学習方法	構成等	表現表記			言語活動
4	公民	政治・経済		2 東書	政経 311	政治・経済	◎	○	◎	◎	◎	選定	基礎・基本の定着を図ることができ るよう、各節で学習したことをまと めるための課題「節のまとめ」を設 けている。
				35 清水	政経 314	高等学校 現代政治・経済 新訂版	○	○	○	○	○		
④	数学	数学 I		2 東書	数 I 319	改訂 新数学 I	◎	○	◎	◎	○	選定	学習内容の定着を確認しながら見通 しを持って学習に取り組むことがで きるよう、「章のまとめ」を掲載し ている。
4	数学	数学 A		2 東書	数 A 319	改訂 新数学 A	◎	○	◎	◎	○	選定	基礎・基本の定着を図ることができ るよう、章末に復習問題に加えて 「章のまとめ」を記載している。
				7 実教	数 A 323	高校数学 A 新訂版	○	○	○	○	○		
4	数学	数学 B	新規	104 数研	数 B 329	改訂版 新 高校の数学 B	◎	○	◎	◎	○	選定	目標を明確にし、見通しをもつて学 習に取り組むことができれば、各 項目のはじめに学習する内容を示し ている。
				2 東書	数 B 302	新編数学 B	◎	○	○	○	○		
4	数学	数学活用		7 実教	数活 301	数学活用	◎	◎	◎	◎	○	選定	生徒の興味・関心を高めることがで きるよう、身近な事例を多く扱って いる。また、学習内容を活用し深く 理解するところができるよう、「課 題」を設けている。
				61 啓林館	数活 302	数学活用	◎	○	○	○	○		
④	理科	物理基礎		2 東書	物基 312	改訂 新編物理基礎	◎	◎	◎	◎	○	選定	基礎・基本の定着を図ることができ るよう、学習する内容について章の 冒頭に、メモ欄「学習前」「学習 後」を設け、小單元ごとに例題や問 題による問題演習を設定している。

学校名 広島工業高等学校 (定時制)

教頭名 堂 鼻 康 晴

令和2年度使用高等学校・中等教育学校 (後期課程) 用教科用図書申請書 (その3)

学年	教科名	科目名	新規の 選定	発行者の 番号、略称	教科書の 記号、番号	書 名	観点の評価				選定	選 定 の 理 由	
							基礎基本	学習方法	構成等	表現表記			言語活動
4	理科	化学基礎		2 東書	化基 314	改訂 新編化学基礎	◎	◎	◎	◎	◎	選定	基礎・基本の定着を図ることができよう、章ごとに「まとめ」と章末確認テストを掲載している。
				104 数研	化基 320	改訂版 新編 化学基礎	○	◎	○	○	○		
④	保健体育	保健		183 第一	保体 306	高等学校 改訂版 保健体育	◎	◎	○	◎	◎	選定	生徒の興味・関心を高めることができよう、各所に「コラム」(「保健編は生活最前線」、「体育編はスポーツ最前線」)を設け、実生活との関連をもたせ工夫がされている。
				17 教出	書 I 307	新編 書道 I	◎	○	◎	◎	◎	◎	
4	外国語	英語表現 I		15 三省堂	英 I 325	SELECT English Expression I New Edition	◎	○	◎	◎	◎	選定	基礎・基本を定着させ、英語での表現力を育成することができよう、各レッスンに場面面でGo!を設定し、言語活動を充実させている。
				183 第一	英 I 337	Vivid English Expression I NEW EDITION	○	○	○	◎	◎	◎	
4	外国語	英語会話		15 三省堂	英会 302	SELECT English Conversation	◎	◎	◎	◎	◎	選定	言語活動を通して英語での表現力を高めることができよう、具体的な場面を設定したINTERVIEWやPAIR WORKを設けている。
				2 東書	英会 301	Hello there! English Conversation	◎	◎	○	◎	◎	◎	
④	家庭	家庭基礎		2 東書	家基 311	家庭基礎 自立・共生・創造	◎	◎	◎	◎	◎	選定	基礎・基本の確実な定着を図ることができよう、小・中学校で学習した内容と高等学校で学習する内容の関連を示した「小学校、中学校の学習とのつながり」のページを設けている。

(様式3)

広島市教育長 様
(学校教育部指導第二課)

令和元年7月11日

学校名 広島工業高等学校 (定時制)

教頭名 堂 鼻 康 晴

令和2年度使用高等学校・中等教育学校(後期課程)用教科用図書申請書(その4)

学年	教科名	科目名	新規の 選定	発行者の 番号、略称	教科書の 記号、番号	書 名	観点の評価				選定	選 定 の 理 由	
							基礎基本	学習方法	構成等	表現表記			言語活動
4	家庭	フードデザイン		6 教図	家庭 312	フードデザイン cooking&arrangement	◎	◎	◎	◎	◎	選定	生徒が興味・関心を持って学習に取り組むことができるよう、実習のカララ写真、イラストなどを多数掲載している。
				7 実教	家庭 313	フードデザイン 新訂版	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
4	家庭	調理		6 教図	家庭 312	フードデザイン cooking&arrangement	◎	◎	◎	◎	◎	選定	生徒の興味・関心を高めるとともに、学習内容の定着を図ることができるよう、事例を記載している。また、イラストなどの資料を多く掲載している。
				7 実教	家庭 313	フードデザイン 新訂版	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
4	工業 (共通)	工業技術 基礎		7 実教	工業 301	工業技術基礎	◎	◎	◎	◎	◎	選定	基礎・基本の定着を図ることができるよう、製図の基礎や機械、電気、建築に関する内容を記載している。
				7 実教	工業 302	製図 機械製図	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
4	工業 (共通)	工業数理 基礎		7 実教	工業 308	工業数理基礎	◎	◎	◎	◎	◎	選定	基礎・基本の定着を図ることができるよう、S I 単位系を掲載している。また、生徒の興味・関心を高めることができるよう、例題とともに平易な練習問題を多く取り入れている。
				7 実教	工業 385	情報技術基礎 新訂版	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
4	工業 (共通)	情報技術 基礎		7 実教	工業 385	情報技術基礎 新訂版	◎	◎	◎	◎	◎	選定	基礎・基本の定着を図ることができるよう、S I 単位系を掲載している。また、生徒の興味・関心を高めることができるよう、例題とともに平易な練習問題を多く取り入れている。
				7 実教	工業 385	情報技術基礎 新訂版	◎	◎	◎	◎	◎	◎	

(様式3)

広島市教育長 様
(学校教育部指導第二課)

令和元年7月11日

学校名 広島工業高等学校 (定時制)

教頭名 堂 鼻 康 晴

令和2年度使用高等学校・中等教育学校 (後期課程) 用教科用図書申請書 (その5)

学年	教科名	科目名	新規の 選定	発行者の 番号、略称	教科書の 記号、番号	書 名	観点の評価					選定	選 定 の 理 由
							基礎基本	学習方法	構成等	表現表記	言語活動		
4	工業 (共通)	デザイン 技術		201 海文堂	工業 344	デザイン技術	○	◎	○	◎	○	選定	生徒の興味・関心を高めることができるように、巻頭に写真や絵を設けている。
④	工業 (機械)	実習		7 実教	工業 301	工業技術基礎	◎	◎	○	◎	○	選定	生徒の興味・関心を高めるとともに、学習内容の定着を図っている。また、きょう、事例を記載している。また、イラストなどの資料を多く掲載している。
④	工業 (機械)	製図		7 実教	工業 307	製図	◎	◎	◎	◎	○	選定	生徒が主体的に学習することができるように、製図の基礎や機械、電気、建築に関する内容を記載している。
④	工業 (機械)	情報技術 基礎		7 実教	工業 385	情報技術基礎 新訂版	◎	◎	◎	○	○	選定	プログラミング言語の基礎・基本の定着を図ることができ、工業科で扱うBASICとC言語を章立てして掲載している。
4	工業 (機械)	材料技術 基礎		7 実教	工業 340	工業材料	○	◎	◎	○	○	選定	生徒が主体的に学習することができるように、環境問題に関する内容と、身近な材料と関係させて学習を行うことができる工夫をしている。
4	工業 (機械)	生産シス テム技術		7 実教	工業 313	生産システム技術	◎	◎	◎	◎	○	選定	基礎・基本の定着を図ることができ、公式を適切に表記している。また、興味・関心を高めることができるように、コラムや単位の由来の説明を掲載している。

(様式3)

広島市教育長 様
(学校教育部指導第二課)

令和元年7月11日

学校名 広島工業高等学校 (定時制)

教頭名 堂 鼻 康 晴

令和2年度使用高等学校・中等教育学校 (後期課程) 用教科用図書申請書 (その6)

学年	教科名	科目名	新規の 選定	発行者の 番号、略称	教科書の 記号、番号	書 名	観点の評価					選定	選 定 の 理 由
							基礎基本	学習方法	構成等	表現等	言語活動		
④	工業 (機械)	機械工作		7 実教	工業 315	機械工作1	◎	◎	◎	◎	○	選定	生徒が興味・関心を高め、主体的に学習することができよう、各章の節を多く設け、学習内容を詳しく解説している。
4	工業 (機械)	機械設計		7 実教	工業 319	機械設計1	◎	◎	◎	◎	○	選定	学習内容の定着を図ることができるように、草ごとくに練習問題を多く設けている。また、単位や量記号を分かりやすく表記している。
					工業 318	新機械設計	◎	○	○	○	○		
					工業 345	原動機	○	◎	◎	○	○	選定	
④	工業 (電気)	実習		7 実教	工業 301	工業技術基礎	◎	◎	○	◎	○	選定	生徒の興味・関心を高めるとともに理解の定着を図ることができよう、事例や記述がなされ、イラストなどの資料を多く掲載している。
④	工業 (電気)	製図		7 実教	工業 303	電気製図	◎	◎	○	◎	○	選定	基礎・基本の定着を図ることができよう、各単元のねらい等を示している。また、電気・電子に関する図記号を詳しく表記している。
④	工業 (電気)	電気基礎		7 実教	工業 388	電気基礎1 新訂版	○	◎	◎	◎	○	選定	専門的な内容を主体的に学習することができよう、見返しに単位・図記号を掲載している。また、例題や問題を適宜設けている。

(様式3)

広島市教育長 様
(学校教育部指導第二課)

令和元年7月11日

学校名 広島工業高等学校 (定時制)

教頭名 堂 鼻 康 晴

令和2年度使用高等学校・中等教育学校 (後期課程) 用教科用図書申請書 (その7)

学年	教科名	科目名	新規の 選定	発行者の 番号、略称	教科書の 記号、番号	書 名	観点の評価				選定	選 定 の 理 由	
							基礎基本	学習方法	構成等	表現形態			言語活動
④	工業 (電気)	電気基礎		7 実教	工業 389	電気基礎2 新訂版	○	◎	◎	◎	○	選定	専門的な内容を主体的に学習することができ、見返しの単位・図記号を掲載している。また、例題や問題を適宜設けている。
④	工業 (電気)	電気機器		154 オーム	工業 349	電気機器	◎	◎	○	◎	○	選定	生徒が主体的に学習することができ、節の始めに学習のポイントを示している。また、電気機器で学ぶ重要な公式を掲載している。
4	工業 (電気)	電力技術		7 実教	工業 392	電力技術1 新訂版	◎	◎	◎	○	○	選定	基礎・基本の定着を図ることができ、「節末問題」を掲載している。また、課題解決的な学習ができる。より、各章末に「まとめ」と「章末問題」を掲載している。
4	工業 (電気)	電力技術		7 実教	工業 393	電力技術2 新訂版	◎	◎	◎	○	○	選定	基礎・基本の定着を図ることができ、適宜問題と例題を掲載している。また、各章末に「まとめ」と「章末問題」を掲載している。
4	工業 (電気)	電子回路		7 実教	工業 395	電子回路 新訂版	◎	◎	◎	○	○	選定	見通しを持って学習することができ、「この章で学ぶこと」を設けている。また、基礎・基本の定着を図ることができ、まとめと章末問題を掲載している。
4	工業 (電気)	電子計測制御		7 実教	工業 357	電子回路	○	◎	○	○	○	選定	見通しを持って学習することができ、各章ごとに学ぶ内容を明確に示し、まとめを掲載している。
4	工業 (電気)	電子計測制御		7 実教	工業 358	電子計測制御	◎	◎	◎	○	○	選定	見通しを持って学習することができ、各章ごとに学ぶ内容を明確に示し、まとめを掲載している。

(様式3)

広島市教育長 様
(学校教育部指導第二課)

令和元年7月11日

学校名 広島工業高等学校 (定時制)

教頭名 堂 鼻 康 晴

令和2年度使用高等学校・中等教育学校 (後期課程) 用教科用図書申請書 (その8)

学年	教科名	科目名	新規の 選定	発行者の 番号、略称	教科書の 記号、番号	書 名	観点の評価					選定	選 定 の 理 由
							基礎基本	学習方法	構成等	表現表記	言語活動		
4	工業 (電気)	ソフトウエア技術		7 実教	工業 361	ソフトウエア技術	○	◎	◎	◎	○	選定	見通しを持って学習することができ るよう、学習内容を記載してお り、ソフトウェアの機能と操作に 関する学習を深めることができ るよう工夫されている。
							○	◎	◎	◎	○		
④	工業 (建設)	実習		7 実教	工業 301	工業技術基礎	◎	◎	○	◎	○	選定	生徒の興味・関心を高めるとも に、学習内容の定着を図ること ができるよう、事例を記載して いる。また、イラストなどの資 料を多く掲載している。
							○	◎	◎	◎	○		
④	工業 (建設)	製図		7 実教	工業 305	建築設計製図	○	◎	○	◎	○	選定	生徒の興味・関心を高めること ができるよう、巻頭にカラーの 挿絵を掲載し、本文に製図例 を大きく示している。
							○	◎	◎	◎	○		
4	工業 (建設)	製図		7 実教	工業 306	土木製図	◎	◎	◎	◎	○	選定	土木構造物について、主体的 に学習することができよう、 製図方法や例題を多く掲載し ている。
							◎	◎	◎	◎	○		
4	工業 (建設)	建築計画		7 実教	工業 362	建築計画	○	◎	○	◎	○	選定	生徒の興味・関心を高めること ができるよう、コラムやカラー 写真を多く掲載している。
							○	◎	◎	◎	○		
4	工業 (建設)	建築施工		7 実教	工業 376	建築施工	○	◎	○	◎	○	選定	生徒が主体的に学習に取り組 むことができよう、施工に携 わる人々の仕事と工事の流れ を示した写真が掲載されてい る。また、工事で使用する 建設機械を掲載している。
							○	◎	◎	◎	○		

(様式3)

広島市教育長様
(学校教育部指導第二課)

令和元年7月11日

学校名 広島工業高等学校 (定時制)

教頭名 堂鼻康晴

令和2年度使用高等学校・中等教育学校(後期課程)用教科用図書申請書(その9)

学年	教科名	科目名	新編の 選定	発行者の 番号、略称	教科書の 記号、番号	書名	観点の評価				選定	選定の理由	
							基礎基本	学習方法	構成等	表現差異			言語活動
4	工業 (建設)	建築法規		7 実教	工業 377	建築法規	○	◎	○	◎	○	選定	専門的な内容について主体的に取り 組むことができるよう、法令用語の 解説を掲載している。また、章ごと に練習問題を設定している。
④	工業 (建設)	測量		7 実教	工業 335	測量	◎	○	○	◎	○	選定	基礎・基本の定着を図ることができ るよう、測量の技法をイラストや写 真で分かりやすく説明している。
4	工業 (建設)	土木基礎 力学		7 実教	工業 364	土木基礎力学1	◎	○	○	◎	○	選定	基礎・基本の定着を図ることができ るよう、基本となる公式を明確に示 している。
4	工業 (建設)	土木構造 設計		7 実教	工業 378	土木構造設計	○	◎	◎	◎	○	選定	生徒の興味・関心を高めることがで きるよう、巻頭に構造物のカラー写 真を掲載している。また、各項目ご とに学習のねらいを示している。
4	工業 (建設)	土木施工		7 実教	工業 366	土木施工	○	◎	○	◎	○	選定	生徒の興味・関心を高めることがで きるよう、カラー写真や挿絵を豊富 に掲載している。
4	工業 (建設)	社会基盤 工学		7 実教	工業 379	社会基盤工学	○	◎	◎	◎	○	選定	生徒が主体的に学習に取り組むこと ができるよう、「LINK」を設 け、社会基盤と関連する項目や用語 の解説を掲載している。

(様式4)

広島市立広島工業高等学校(定時制)令和2年度使用教科用図書選定委員会規約

(設置)

第1条 広島市立高等学校(以下「学校」という。)において使用する教科用図書の選定について審議するため、広島市立広島工業高等学校(定時制)令和2年度使用教科用図書選定委員会(以下「選定委員会」という。)を設置する。

(組織)

第2条 選定委員会は、委員5人をもって組織する。

(委員)

第3条 次に掲げる者を委員とする。

- (1) 学校の教頭・事務長・教務主任
 - (2) 保護者代表・学校協力者会議委員(代表可)・学識経験者
- 2 委員の任命及び委嘱は教頭が行う。
- 3 委員の任期は、委員会の開催日から開催年の8月末日までとする。

(委員長及び副委員長)

第4条 選定委員会には、委員長及び副委員長を置く。

- 2 委員長は、教頭とする。
- 3 副委員長は、委員の互選によってこれを定める。
- 4 委員長は、会務を掌理し、選定委員会を代表する。
- 5 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 選定委員会の会議(以下「会議」という。)は、委員長が招集し、委員長が議長となる。

- 2 選定委員会は、委員の3分の2以上が出席しなければ会議を開くことができない。
- 3 選定の内容については、教科用図書を採択する教育委員会の会議が開催されるまで非公開とする。

(調査員)

第6条 選定委員会に、専門の事項を調査させるため、調査員を置く。

- 2 調査員は、学校の教諭のうちから、教頭が任命する。

(庶務)

第7条 選定委員会の庶務は、広島市立広島工業高等学校(定時制)において処理する。

(委任規定)

第8条 この規約に定めるもののほか、選定委員会の運営に関し必要な事項は、教頭が定める。

附 則

この規約は、令和元年6月13日から施行する。